

市指定文化財<古文書>

指定日 昭和41年4月15日

おんまつばやし ばんづけなら おぼえがき
御松囃子の番付並びに覚書

所在地 菊池市隈府



・松囃子起源覚書 縦31cm×横167cm

宝暦7年(1757)7月、隈府町別当次左衛門から郡代飯田三右衛門に差し出した文書の控えである。本文は松囃子通し物は、いつの時代から行われているかという公儀からの問合わせに対して、武光が征西将軍とともに戦勝凱陣を祝って始まり、天下平安を祈るための神事であるという起源から、その沿革・能場・遺品(面や太刀)についての概略を覚書にして申し上げる旨が記されている。

・能番組旧記 縦14.3cm×横21.3cmの横綴、表紙ともに282枚

寛文7末丁年(1667)7月15日、御松囃子能番組と書きはじめられ、「開口」「老松」の奉仕者13人の名前が記され、それより明治時代に至るまで毎年の松囃子能の番組を書き継ぎ、そのほか能に関連する事柄や故事・覚え書きが克明に書き入れてある。